

■ 枠組み立て (次の順序で組み立てます)

1. 無目付きの製品は、無目と縦枠又は方立を付属ビス（無目・方立組み立てビス S 4 × 35ナベ）を用いて組み立て、ビス穴キャップでビス穴を閉じて下さい。（図-1 参照）
（注）無目と方立は同じ形材です。
2. 方立付きの製品は、方立と上・下枠を付属ビス（無目・方立組み立てビス S 4 × 35ナベ）を用いて組み立て、ビス穴キャップでビス穴を閉じて下さい。（図-2 参照）
注. 溝カバー（A_ℓ）を開き側に持って行き組み立てないと押縁が入らなくなります。
3. 縦枠と上・下枠を付属ビス（枠組み立てビス S 4 × 20ナベ）を用いて組み立てます。
枠組み立て後、枠プラスチックアタッチ引寄せビス（S 4 × 50トラス）を用いて、コーナー部分が開かないようにして下さい。（図-3 参照）

《以上水平な状態で組み立てて下さい。》

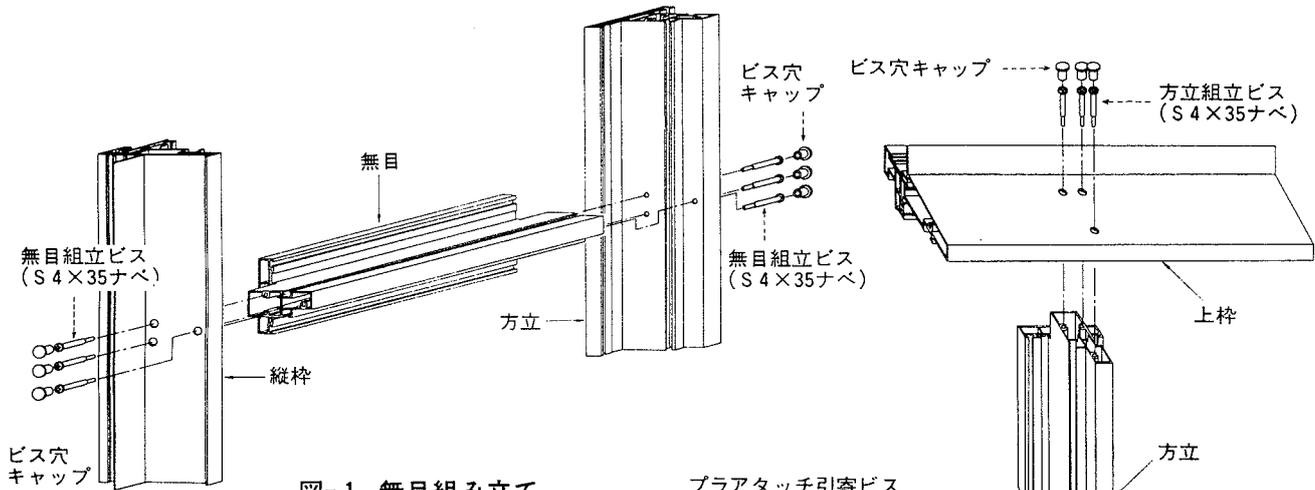


図-1 無目組み立て

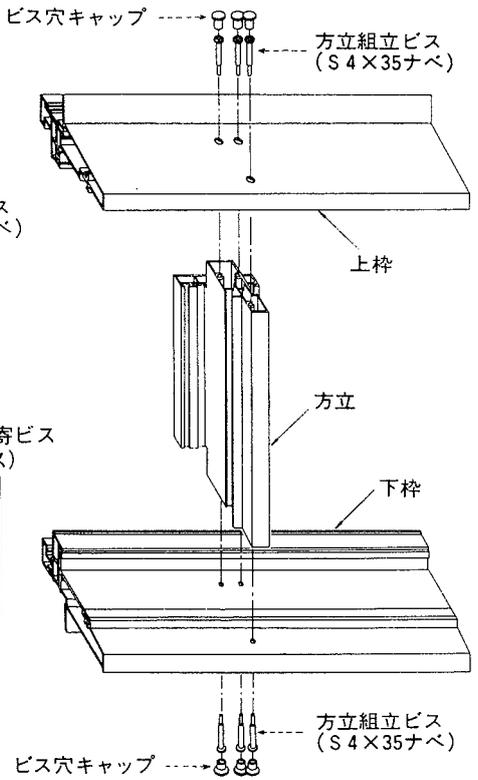


図-2 方立て組み立て

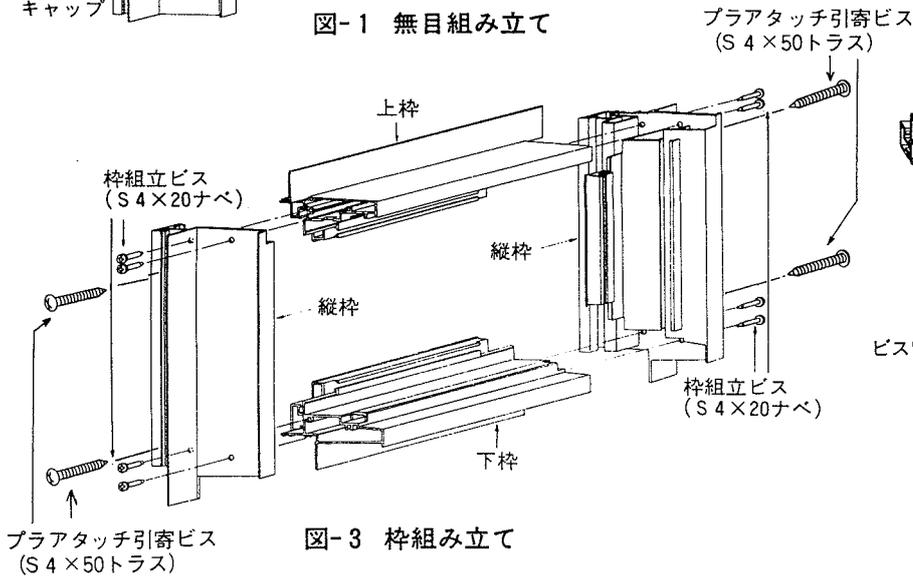


図-3 枠組み立て

アルプラ組立て説明書

改-1

取説番号 MN-18

■障子組み立て

付属ビス（障子組み立てビス S 4 × 20 ナベ）を用いて上・下框を組み立てます。

（注） 迂り出し窓だけは組立ビス各コーナー 2 本づつで組み立ててください。（図-4 参照）

注. 中棧付勝手口ドアの場合

1. 初めに作動板を固定している 2 本のビス（S 4 × 12 トラス）をはずして縦框から作動板をぬきとり、中棧を付属ビス（S 4 × 50 ナベ）を用いて組み立ててください。

次に作動板を元の状態に戻し、ビスで固定してください。

注. この時真中のローラーが固定ビスより下部になっている事を確認してください。

2. 普通の窓と同様に付属ビスを用いて組み立ててください。

《水平な状態で組み立ててください》

■ハンドル取付

A. 外開き窓、縦迂り出し窓、迂り出し窓

作動板を閉状態にセットしてくださいハンドルも閉状態にして取付けビス（S 5 × 55 皿）で固定してください。

B. 勝手口ドア、テラスドア（図-5 参照）

1. 作動板を閉状態（一番上にあげた状態）にセットしてください。室外側ハンドルに高ナットをセットし取付けビス（S 4 × 18 皿）で固定してください。
2. シャフトを框に通してください。
3. 両サイドからハンドルをセットしてください。
4. 室内側からビス（S 4 × 50 皿）で固定してください。
5. サムターンを閉状態にしセットしてください。
6. 室内側からビス（S 3 × 20 皿）で固定してください。

（注） 作動板、ハンドル、サムターンともに閉状態にセットしないで取付けると、ハンドル、本締め錠の開閉が出来なくなります。

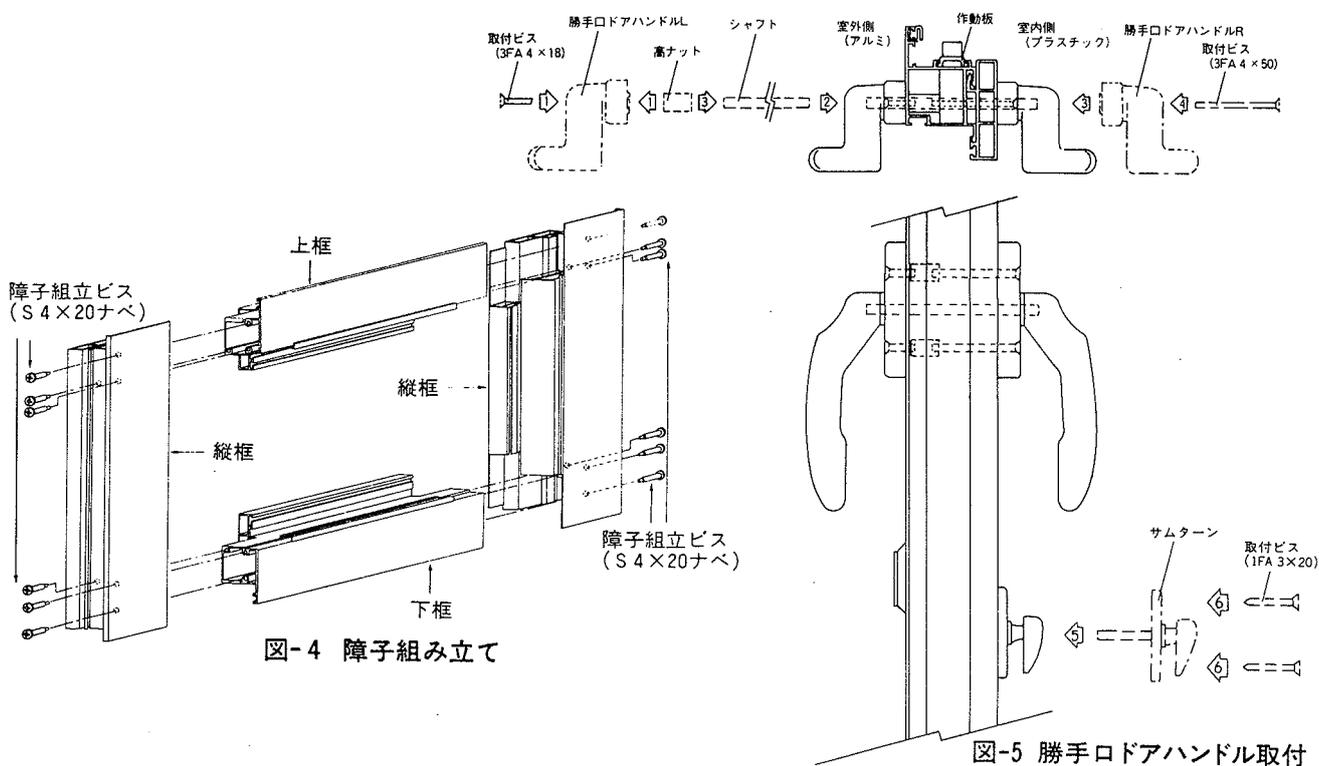


図-4 障子組み立て

図-5 勝手口ドアハンドル取付

障子取付け

●外開き窓

1. 枠、障子それぞれに丁番を付属ビス (S 5×10皿) で取付けます。この時丁番に付いているワッシャーをなくさないように注意して下さい。(図-7参照)
2. 枠に障子を取付け、枠に付いているアオリ止メのブラケットを上枠吊り元側にセットし、付属ビス (S 4×8皿) で固定して下さい。(図-8参照)
3. 取付け後開閉が軽い場合、アオリ止メ送り子にある調整ビスを締めて調整して下さい。(図-9参照)

●縦送り出し窓

1. 上・下枠に取付いているフリクションステーをいっばいに開き、下枠側から付属ビス (S 4×16皿) で固定し、次に上枠側を固定して下さい。(固定箇所はサッシサイズにより異なります。)(図-10参照)

●送り出し窓

1. スペースを左右縦框に上部から挿入し付属ビス (S 4×16皿) で2ヶ所固定します。(図-11参照)
 2. フリクションステーの障子取付プレートをいっばいに開き、付属ビス (S 4×8皿) で固定します。
- 注：スペースには左右勝手違いがあります。図は外観左側用を示します。(図-11参照)
3. フリクションステーの枠取付プレートを付属ビス (S 4×16皿) で左右縦框に固定します。(図-12参照)

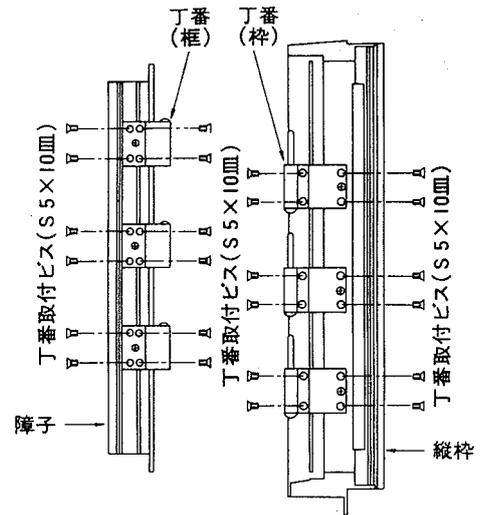


図-7 丁番取付け

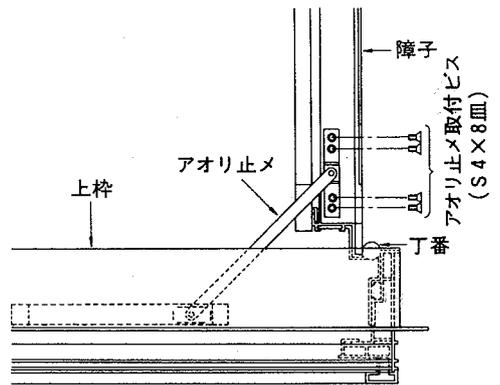


図-8

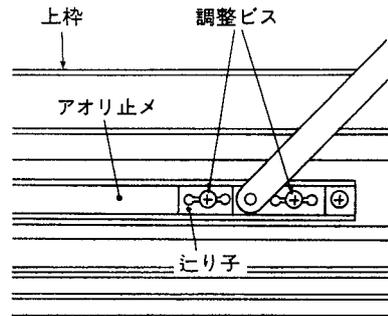


図-9

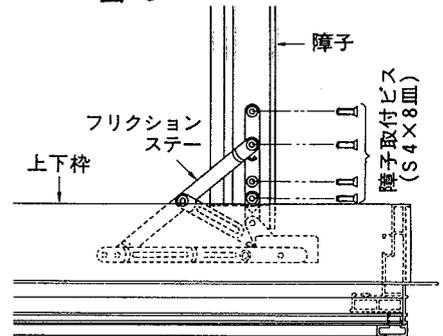


図-10

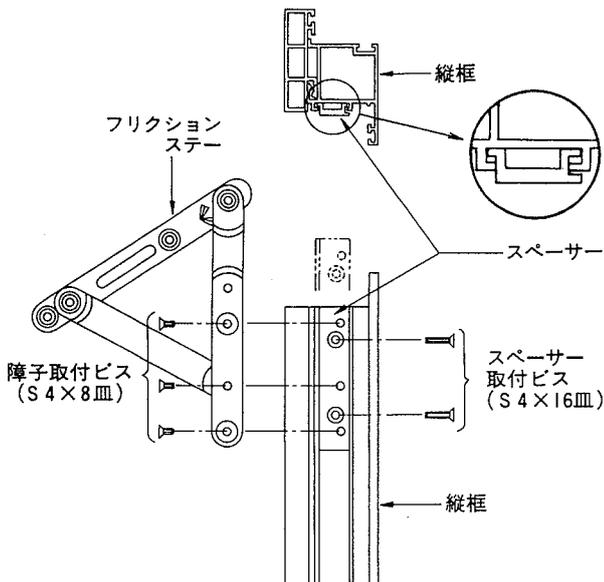


図-11

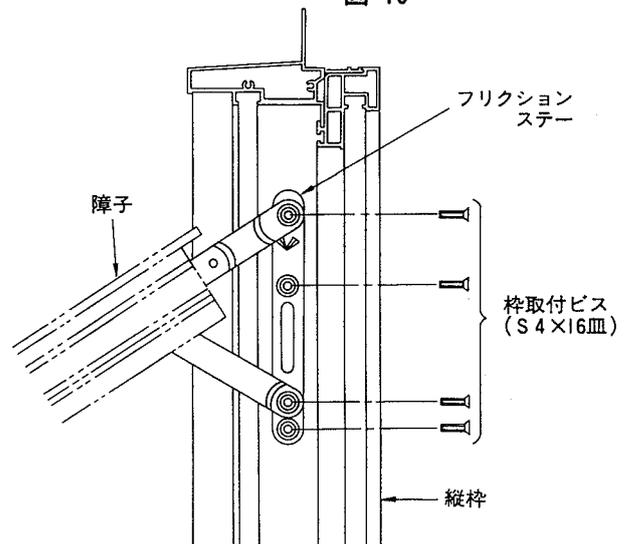


図-12

■ ビード取扱い説明書

取説番号 MN-18

右表にある使用可能ガラスに関しては、ビードを取り換えることなくビードをはぎ取ることによって対応出来ます。

表-1

ガラス区分	ガラス使用区分	使用可能ガラス	使用ビード及びはぎ取枚数		
			本体側	押縁側	
嵌殺し	3%系ガラス	ガラス寸法	GB-243	GB-243	
		(WG ≤ 1219)	3 + A 12 + 3	0枚	0枚
		(HG ≤ 1829)	3 + A 12 + 4	0	0
		もしくは	6.8 + A 12 + 3	0	1
	5%系ガラス	(WG ≤ 1829)	6.8 + A 12 + 4	1	1
		(HG ≤ 1219)			
		ガラス寸法	GB-243	GB-242	
		(WG > 1219)	5 + A 12 + 4	0枚	0枚
障子	3%系ガラス	(HG > 1829)	5 + A 12 + 5	0	1
		もしくは	6.8 + A 12 + 4	0	1
		(WG > 1829)	6.8 + A 12 + 5	1	1
		(HG > 1219)			
障子	3%系ガラス	ガラス寸法 HG ≤ 1829	GB-242	GB-242	
			3 + A 12 + 3	0枚	0枚
			3 + A 12 + 4	0	0
			6.8 + A 12 + 3	0	1
			6.8 + A 12 + 4	1	1

● 表の見方 (表-1 参照)

枠にて5%系6.8-A12-4ガラスを使用する場合
 (枠側にはGB-243を使用し、はぎ取りはしないで下さい。
 押縁側にはGB-242を使用し、1枚はぎ取って下さい。)

- 注1. 右表は木造住宅用です。
 2. ガラス面積が1.92㎡を超える場合5%系ガラスを使用して下さい。

(障子 3%系
 嵌殺し ★印5%系 他 3%系)

■ 水平状態でのガラス建込みの場合

無目または方立付きの製品に水平状態でガラスを入れる場合は、無目または方立がガラス重量により変形しないよう台木をはさんで施工下さい。

(図-13参照)

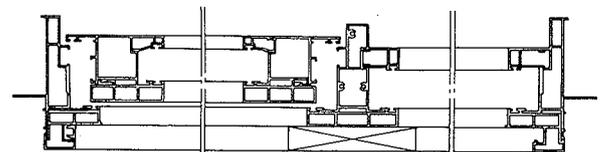


図-13 台木 (厚さ20%)

■ 躯体取付け

1. 躯体にサッシを水平、垂直になるようにセットし、上・下・縦枠を付属のクギ、木ネジ(2.1×25、WR3.5×32)を用いて固定して下さい。

注: この時ライナーをかませってからビス止めして下さい。ライナーをかませず枠が曲がって取付くと障子の垂れ下がり、開閉不良の原因になります。(図-14参照)

2. 上・下・縦枠のビスの溝にビス溝カバーを取り付けて下さい。

注: 必ず縦枠から取り付けて下さい。(図-15参照)

■ 調整 (外開き窓丁番調整方法)

1. 室内側から見て障子がセンターの位置になるようにセットし、全ての丁番の間に隙間が開かないよう丁番を取り付けて下さい。

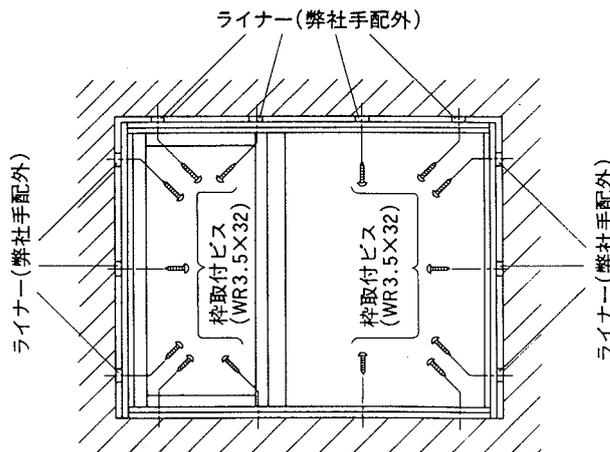


図-14

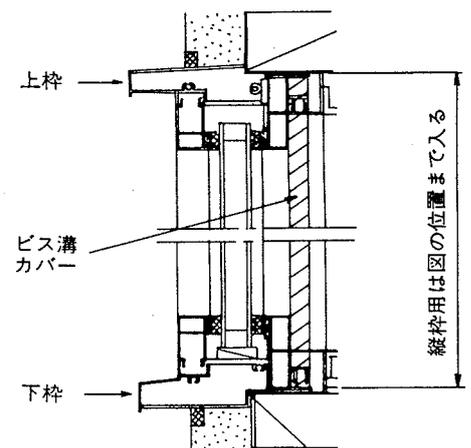


図-15